



「大学入学共通テスト（仮称）」

いわゆるセンター試験に代わる「大学入学共通テスト（仮称）」について方針が公表されました。

英語は民間の資格・検定試験（認定試験）を利用して4技能（読む・聞く・話す・書く）を評価することになり、高校3年の4月～12月の間に2回まで受けることができます。2020年度から全面移行する案と、2023年度まではセンター作成の共通テストと認定試験の両方またはどちらかを選択利用する案が出ており、6月中に実施方針を作成するとのこと。

国語と数学ではマークシート式問題に加え、記述式問題が導入される予定です。採点は民間業者を活用するとのこと。成績は段階別で評価され、試験時間は国語が現在の80分から100分程度に、数学は70分程度になる見通しです。

記述式のモデル問題例も併せて発表されました。国語のモデル問題は、自治体の広報資料や駐車場の契約書を題材にしたもので、20字～120字の記述問題が3～4問程でした。文中の「一石二鳥」という言葉を文脈に即して説明させたり、契約書に盛り込んでおくべき内容を述べたりする問いが見られました。成績評価の仕方も変わり、出題されている文章も現在の近現代の文章等とは違うもので、これまでの国語の問題とはまったく違う要素ばかりです。



学習指導要領も変わります。小学校では平成32年度（2020）から、中学校では平成33年度（2021）から全面実施、高校では平成34年度（2022）から年次進行で実施の予定です。すでに小学校・中学校の新学習指導要領は3月に公示されました。高校はまだ公示には至っていませんが、中央教育審議会の答申で教科や科目の見直しが提示されています。特に国語や地理歴史の科目においては大きく再編される模様です。

新学習指導要領、大学入学共通テスト、また新たに実施される予定の「高校生のための学びの基礎診断（仮称）」など、教育現場が変わろうとしています。



平成30年度用 教科書のご案内 を開始しました！



English Expression I

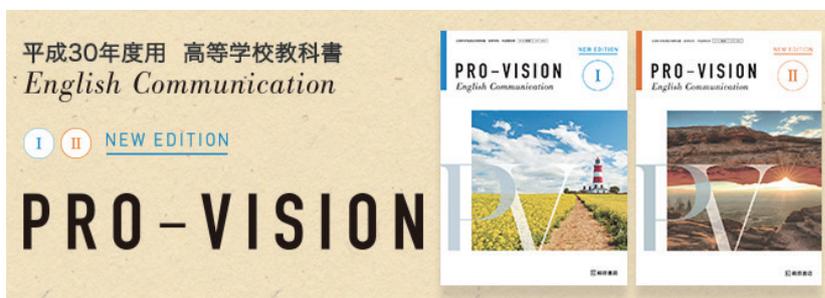
EMPOWER Essential Course

EMPOWER Mastery Course



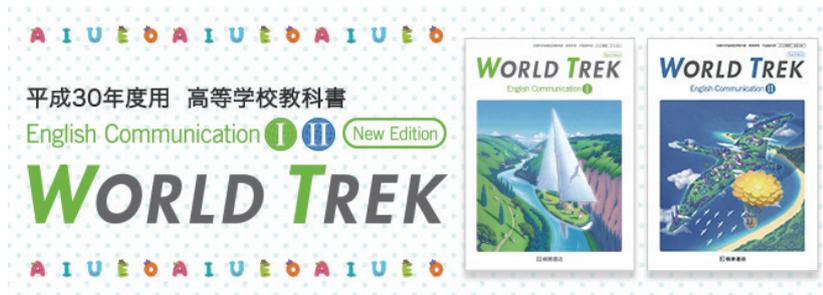
English Communication I II

PRO-VISION



English Communication I II

WORLD TREK



国語総合 現代文B 古典B

新 探求国語総合
新 探求現代文B
新 探求古典B



詳しくは桐原書店ホームページをご覧ください。

